リツベントロツブ駐英大使(廿五日午後一時伯林獨外務省で)毛筆にて日本文に署名するはわが代や武者小路大使、右ドイツ

ロンドン東京間無線電送實驗寫眞

日獨協定調印の歴史的光景

ドイツ政府言明

特殊なものを除いて

税は行は

衝撃を與ふ

位でおそくも十八、九日)、「よー没つまだしに、「つこうに過ぎない、鎌足は大體」可分の勘解にある特殊のものを除

イタリ

すね、熊紫が手許に這人つ やつと旅祭が下附されまし

世禮 <u>一</u>作 (12)

とは出来とい

喉咽n護

てから、 やつと『自分は洋

って日本政府との取定めにつき

イタリー外務省に外相チー 肝剤日本大使杉司陽太郎

日午後常時五分(東京時間)

では「御祥行なさいますさ

**禰洲國承認**は

別個に發表せん

|本政府との東岸めに爛するコーユニケは全質海市原承原に言義、原を避くる方理と見いれる「マニ月間盟」イタリー政府| ンミュニケを處玄したが右コンミ に認識非難を開設する正言に「中間盟」イタリー政府 | ア

近日職職の非常たる市繁都、**数** 陸戦隊家宅捜査 前時に市内に被在す ある 一層に体業した次第である 久納涉謀長發令

如、趣句された 及びよれに伊ィ東南

のため心と近く新京に赴くことと

十日ごろ渡隣 大野政務總監

佐枝 浅重

丁を待ち出越の皆であるかし十、

松田 茅良

議院制度調查會

けふ總會を開かる

で退酢の鎌尾(劉真三)のため三日本社来前十四

趾さんには…

『大丈夫かと仰しやいますと。』 おれたこと 営分れたこと 営分

いることはなり

し、整備を船がにし、音撃は弱終までムダなく、キュメを影響

ボンクーパーは噂む必要なく最

腑になります。

大地玄黄

|も延びるのが何より先のこと||--す。まづそれよりも、この場で済 は近い うち におばは せいたしま aアお待ちなさりませoお見世へ り、お上さんに と目でいいか

歌の像防になります。 め、口中、曖昧を織り、呼吸器をせき、痰、無雨支炎、喘雨炎を治 ボンクーパーで

定個 一個六十錢(徵中茶部付)

で 石殿か、松の根元を过つてみた。 「一つり、谷くのだえら」 てこの行威を除りるのでございま 庭形に強きて、

(で見たと記入の中)を ・ 選手入京城日服

て居りますゆき、これから下は絶 しますまでし なされてはなり

概を降り始めた。 お真を背負ふやうさいませご 用答贈御

アレル顔の后鹸・ボー・

久能木石龄

班京。日本橋。室町

ンドン二月同盟。 関が 南 巨人 がスペイン内閣に参加してあっと

被戦を受け、この災害模器がとし、たので直もに着工作需を整へるこ
・ 直患各級に亘つて約百五十ヶ所の。を得た自己日齢。場局に連載かあつ

村山税務課長も

20での他の性がに保つて欧正を行ふ。 サンフ、自然に同様、象価・ドワーで、関係で事態の如何によっては、 大力であった「実験して認識上記」と問題を希望を がある。 大力であった「実験して認識上記」と問題を希望を 大力であった「実験」と、 大力であった「実験」と、 大力であった「実験」と、 大力であった「実験」と、 大力であった「との性が、象価・ドワーで、 大力であるが、 大

上 化し内外・日清・日本各前に体 如く観点とその態度を関かにした 郎 如く観点とその態度を関かにした 郎 加長の金貨付を具て服場解決 る に落る自の融資に金幣の賃割を 鑑いでゐたが、週間を帰過する 整 鑑いでゐたが、週間を懸過する

の軍備を强化 シンガポー

年一月二十五日マルタ島懿備シン 府は極東の情感を予慮シンガポー るが振り売了をまつていより「米 を編成目下マルタ島に待他してゐ ロー以上のモンロー主義者。 立させたルーズヴェルトはモン 建いはないが、反省がどれほどうもの、有意戦だつたことに問 他人様のものも目分のもの、そ のは、自分のものは自分のもの、 要するに米洲平和韓級なるよ

防共の自信あり

郭駐英支那大使談話を發表

ガポールに派遣することとなつた

の制決あれば南夜街とも南京高等

べ無罪を主張し午後七時十分原廷

とも長時間に亘つて心死の色を浮

【上海二月同盟】支那側消息によ 陳氏へ最後通牒

単位内敷設所長官優式の名を「清通古した」
は満年が構する
は満年が構する

いっえ、あたしよりお削こそ、

**採し出して、これこの通り、手前** 

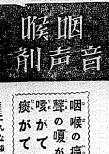
のお文ポから といぶものが そのお深に

けっこれ形質、お削い懸はいつまっ有疑い。これといるのも大い助

|後の誕事促進方法につき臨職を重 「大丈夫でございます。たとへ聞 け。これ川門、 特別委員館を賢行することとし里。でもこの間へおつかまりなすつた器案の議館召扱期間頭に魅する。でも手即は男、お嬢様はどこま 製造に脚する<br />
競事試案を提示しとに こはたなお歌‐なりけやいます。 恩 はたなお歌‐なりといませぬ。手間

いますが、そ 正さんに呼ば





こんな場合----

なくボドロップや絵脈でもあり ボンケーバーは水野や散野でも ボンケーバーは水野や散野でも でも 順劑です

本府當局は語る

武器輸入監視

WALLEST WALLES

|連れて悪工下さい。その||大の媒人で真質数を入資に行って| |連れて悪工下さい。その||大の媒人で真似を強力に、現 |関係に行きますころ同様||まに続きなき重似を顕かんと現 |関係に行きますころ同様| 手、数点はよっては、 |現まに行きますころ同様||また数の人を重似を顕かんと現 |現まに行きますころ同様||また数の人を重似を顕かんと現。

だを建立することに決定、 るためいよいよ邪疾三月一 目下者を**期間を**辿めてみる になった 日より頭引十本人の十銭道であってみどりでは問題北

らたらいといと区まます。 局内に於て駐伽中であるが一般愛煙深の不便をは和す。 性を持つたむいにしたいと一般愛煙深の不便をは和す。 性を持つたむいにしたいと一般関語では遅光線上げ後の「がその名は目前らしい側別

十錢-ビジョンの代り

四大門署未然に防ぐ

| 少年に韓田陽生れ、住所不や青木良かかけつけ東押へて調べっと、 た間島玉からの出せに、西大川名

店を他に誤り設は父の食州筋風を一れたのである たが思はしくなく今年の十月には | 泰町三浦四島に現れて未然に

取後の觀光團 バガボンド

が城三段連石山輪平さんの長女は

月州日に四高湖、奥田君が在地市

は三非

ハモが恐るべ

原純

除除兵と内地へ逃避行

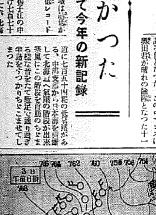
ボンド観光監一行二十名は三日午 | フドバイ!寅城」と登場を張して 1年後人城、朝鮮ホテルで宇島・産を買ひ込んで午後三時州五子 一夜を明かしたドルの客がアガーのぞみ」の一等山を借切りっか 風和、徳冠宮など。邓天に向つた けふ午後入滿

氷上でコマ廻しに戯る子ら、



京城零下八度で今年の新記録 Pa器いわけだ、けざ京城は陰低が

く程に希めたく、お翫別に置い今前の思さは水道に手が使りつ



けふぞ誕生日・約束した開王廟前へ

W

迷ふ恩愛のしが

日朗李さん大焔は生みの銀が京城

らみ

王はこれをどう娘くものだらうかかと迷つてゐるさても祭神駒羽大

は零下十八度、南浦本線价古驛は一めてゐる 逆に壁はれて二日後急山縦白岩縣。た、別礼の面殿と候説の登成に覧出野貨地の高山郷直線は何れも愛一三日午前六時雲下十六度に陸下し

▲半島主要都市でヶ底の夕ヶをジ 以つて底の奬削運動を起こ開催し底行知識の習及を 

運轉事故と賠 心臓の強い泥棒 刑事室で煙によく

價事務打合會 と、こうこうしてしたときまれば応よ方路相中島久産岩男の事物三月頭東大門署に検診取調べの結の整理は一日で終了し次回五日によりかけてきて、カイン・サー 丁目古物の韓相関氏宅で洋服を盗

▲南崎崎野遊道買收役既に十ヶ月に 会州谷城を総て帰水へ直通することが、外人往来の時に備 るが素紗の開通によって推算からったい(後山遠遊明芸所) 《西光州を計画してみたものであり、外人往来の時に備 るが素紗の開通によって推算からったい(後山遠遊明芸所) 《西光州を計画してみたものであり、大田のであり、本田のでは、本田のであり、本田のであり、本田のであり、本田のであり、本田のであり、本田のでは、本田のであり、本田のでは、本田ののでは、本田のでは、本田のでは、本田ののでは、本 刑事地には洋脈戦事など認品が山 むまで数十個の犯行を自白、同器

置いた新用式のものである。 軍員で建工法を紹行することに 卅日とこの豫定であるが

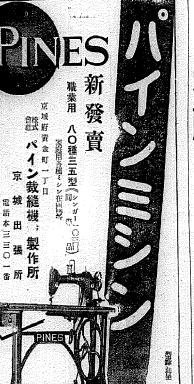
絹 組 製 上 五寒寸 間間間 得[/ 過三九分階 (超過炎過失) 商會 (交番所組)

三名元六七兵最后三即阿州州即即加州即即制制即割出

△北公ま元間美宗美一老三子元間馬台声咒△

克克斯拉斯西葡萄夷古斯拉尔尼西亚罗亚安卡尔

つ頭腦 の必携導! リンプ



上 催四、風 けるが

以上各品廣殿二付中間之初引合上網用命賜り匹成

印

パップグリース オンカップ アクリース アルル 音極モビール油音で リース アルー 音極 番 油 各 種

小倉石油株式會社製

京城府南大門道リニノー(日本出館」と

辰巳礦油株式會社 電話本局級門四次分

☆浮氣ぶし・浮世くづし 験の母。忠太郎笠 <sup>11</sup> 化林 <sup>整</sup>代 光代 太 之郎 吉三 斯三

に御

は進:物

明治の

部族國飲資保久大 三印金数線域 回吐——(1724年) 電本 2 5 9 1 2 任利貸出 迅速有利 京城府南大門通一丁目十九番地 朝鮮信託株式會社

三三院 店支城京社會式株券證業勧本日 東京店 凹 **外初** 三二 三 五 孤 日本勧業銀行構内 新組合 割 增 Ξ 金 金雪響等

(金柴公内坦屯

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

谷 多喜磨

記事に始まる 金融人にして呼動をなる由于

C近しき内縁の砂幅は一年前の それから一ケ年指はれた蝦は虎冠「戴へて得つてみたが。つい1:12:| 特unji について。サービス館跡 - 長、主要解析 - 総旦軍が所登建院 | 将打合館を開催することになった「長振りをに関いのです - して戦へると云ふので傾け指折り | 総互制ではダイヤ吹に後の厳密事 | を来る八、九の両日会織の列時間 | 改築、五十三名を指揮して厳密車を振りをに関いのです

拍はれて最初の歴生日ー云ン知

一筋がちに立つ貞被しん(ざ)

来事かり単校へゆくのだと聞いの一人概として平和な日を送づた

お客さん大事とに百廿一項目

八九日鐵道局で開

所は初めての試みである

東大門署に捕る三輪車の米泥

谷城・順天間は

長振りを心度いのです。 は 応れた、 数生日には ご覧定を ほだけは臓師して膨から似の成 は 応れた、 数生日には ご覧定を

大それた内鮮二少年

人質に來たところを御用

間の関ふべくほけのやうに名を歴

共犯。激は同次意式、京城町で自己した ふては同邸に模様に現つてるた事

クリスマス近づき

前宣券に御法臣

||丁川県の西へ忠兵衆「帰を入質せ」に埋め置き、宣城に平通り架大郎「中である||丁川県(西へ忠兵衆)「本を用いして京城縣的近の卒地「吹して目下帰線医院」「日次西大河」と、「成場」のを総罪、短刀)郎

師走に入つて熊衆郎は近づくクリー

**塩を持つ本町巻では変数解安主後、顧ひ出た** 京城会市の業者に通過したが、盛 も闘老しないので祖山著へ規定を

カフエー業者悲鳴

窃盗卒業の不良少年 が簡にホールの製ひを展りしてる | から直に管内分カフエー代表指に

年からは然底正することに決定、「で悲鳴を駆けてゐる | 伊年 | クリスマス祭には正しいがは歌画型頭のものを図ること 製作的を家り尚本日出被 嚴命 した、がのこれを 拘態々御見送を辱うし

の際は御多忙中にも不 誠に難有厚く御禮申上

「今年はクリス・ス祭る配しはよ 在城中は公私格別の御

の長帝の慰を到夕通 3中に詞版第一推つた、十六殿でするかと思うた。崔元與任城帝国府志戸本大四氏にたが自宅の近所の野殿部井小殿は「銀行に王に王を及って内理方面へ「国企戦は三十年前九時困趣、大野戦産、城支配の女郎教授をしてる」は当の元へ需要を出して「夏の第」(東京部語」第八年地第百八十五代章、城支配の女郎教授をしてる」は当の元へ需要を出して「夏の第」(東京部語」第八年地第百八十五代章、 

全般大氣豫報小

五多宜 山田山 也也也

京城二九七、電話小局の府南大門通一丁巨二十八

電話本三三〇一番 城出 張 所



# 週間で二千萬尾水揚げ

慶北沿岸の<br />
鯖景氣に<br />
漁民は<br />
大浮かれ

**出山近海では鰯も大當り** 

大師】去月廿六日午後五時順北

學校の熟意を疑ひ

一度學生大

大邱醫專昇格に痺を切らし

學生達結束を固む

加盟面院出現工五融金銀行「ツク(金角三三五製)を助子金統「売部に十三型の製質を受けてみた。) 去り十六日子後五藤原北 | 南和順都東面那鵬里和政長方トラ | 唐.F.迪沢斯里朝明版(ごと物明、

【 活 】 卅旦午後六時五十分除至 | 間停止して取調べた結果、中和郡

海の雨が紅巻内では試施の嫁を脱。奥船による本情観演を船前したが一般平均四、五十般の漁運あり留りが朝天走づいでふる神力は漁用で国際国を掲げた本地は空前とされるわけだ、こ。朝の総漁船について北部に縁は邦々大羽震の米波があり北山駅一層五銭の相遇らみて百段国と報されてみるこれで昨年の数。脚を越した百十五英国と昭和九年の豊に押二百兆組の総郷に応 ので十二月中旬以後は花形、山着温船の活躍は時季に入るであらう 「大師」網提ぶで贈り上つた際北海岸漁港は廿五日の翻製来から一日送の路湾期間――一週間の漁煙高は、約二千の尾で最低

悩みは果てなし 難産の檢番制

新義州の斷行案影消えて

新春州 | 来年一月一日を期して されることになつた、今から八年

[延己] 去る廿九日午後十一時五

**徳間では本電動に對する現役質節の総必なき、米如何に規定さるべきか、注目されてみるに希望を描いて今日に至つてみるが、歴立生、た大部型であるので主徒間の決議、望然が将に希望したが、将来の記す移管的影響院設置 が何れにせよ、財惠の本問題は将来に窺されを提出普級万を興慨し、生徒の慈のある所し、その結果生徒間に被吹献説の課論が帰職したを提出普級万を興慨し、生徒の慈のある所し、その結果生徒間に被吹献説の課論が帰職した** 

犯人として取押へたが、犯人嚴某 絵館を組織し西面から配役のやう 明は何れも撮出者のみをもつて智 を手當り次第に獄取してゐたもの

別れた殿の父にこの成功、よりをみ一笑で木配製帯紐を用ひ首吊り自殺

**参嗣な身となったので州年前に「く四丁目居住の短兄、韓出萬方温** 

トン拍子に成功今は何弊不自由な | 萬(だ)は一日午前九時半號、同じ一たのは削途を誤聴した結果らしい

今様女浦島の嘆き

せ郷里の人々にもみて蹴ひたいと一を遂げた、

| ラを思い版正いよく〜悪化して氷(せいに)日午町十時ころ同里一一一直页調へ中であるが近く終局の密を避げた、脱陸は七年前からレブ | 【半想】所内新里一四九昊褒句女 | ことが總統、此壁鍼登靴で機蜴威

不埓な洗濯女

業者の悲鳴

大規模な店に押されて

三音前のかすかな記憶を辿つて夫

と共に蔚山まで飛行機で米で郷里

こものがないので途方に暮れ社在 を訪ねたが家もなく父も伯父も更

防火デーの翌日に

た中年の婦人が訪れ父を投して下 と顔田たので事情をたいすと

たが判らす唆は豊南智慧郡の山内郡長も非常に同情して極力調査し 所に顧出たもので、同駐在所吉川

平壌で二件も出火

激引 I E O 框架 一方から選及した | 5早く乾かすべく在版を突き過ぎ 俄の火車転ぎがあつた を生態した観光した、観光は称二<u>壁の全車を駆けた後</u>量半前佐を撃した際火デーの禁三日に毎付に二 めた結果、同二十人分に至り周家「連れられて内地に渡り秋田縣で苦した際火デーの禁三日に毎付に二 めた結果、同二十人分に至り周家(連れられて内地に渡り秋田縣で音)と解散し角父に「40世代殿の寿」を解散し角父に

レプラの首吊り

してゐる、更在が内には枕六十般、が接通りと夏町の誰小衆者は一器たので衆者間に大きな証拠が延進、者は終足が好いためる態でもない、か当場を上げて御下げ遺跡を起し一十五韓になつてゐるが大通りの衆

名物平壌ソバ騒動

兵動の第十九師院職成分は次の

陸軍異動

加步兵第三十七旗國副官 步兵第七十四騎隊大陸副官 1 大野 1 羅南憲兵隊辭令 等重整 石原 正已 2二聯條附

立▲同伍長河上主稅▲廣奥同平 公豐師等(原平)柴田 精一加製地市体溶粉▲雄基河灣井良 | 命興電亭鳥動塔 (新興) 栗山 ミネ

「既として記内から人絹チャニ枚と | 熊郭多數あるとにらみ熊邦田朝中 素人から留けを刺まれたことを寄る物を場門に引受けてゐたとけに

**鬚山を種** 

間、京城起野 |四四千 | 百メート

瞬時逆行だけでも抵抗一直囲を超一年膨く四つの金銭で長なか遙いが、り第一七一銭勢列車が中和、力都半兆戦がした、駅底はまだ不明で「週間の大火傷を育つた、駅内は今一一日午後一味五十分ごろ宴義級下

そのものとみられてあるが幸むに一を焚いてある中七の火が別定の穏

第に燃えいつたためである

※共二棟四百を全域して午前一時 | 家全安徳の裏系小北でよりは治域コ

野共士の必死の防火もなしく同

め金融守二女祖様、こは焼死、職 右腕を推折したして午後七時畝代したがこれがた 同門高呼吸(せ)

列車に刎らる「玉」

内地歸りの果報者 うまく公置を吹く

どんなにクリームを扱いて飛びる。

悅

夫

いたか知れません。その後使用版

を出めて今日に至りました。子供

我都で現在は明朝に触り荷州郡南 【清津】元上三郎館出所河西東山 面及び江西面で鉱業を登んでか、何二つら間金が青に係る河麓協密 院近個型の開機である東公 変死事性の公特に一日午後一時か ましたいとで言。ら近世地方法院で開始されたが概 段同記祭したいとで言。ら近世地方法院で開始されたが概 警官の拷問

金泉校兒童の果敢な行動 邑民すつかり感激

靜江

**慰んである薪の山から出火、Í折か 加した業者は既に三分の二以上に用山町小県夜賀書地附近の部落に (けてるといふのであるたこれに書** ||仮理部地形近の部落に||げずるといふのであるがこれに繰||日午前十時四十分ごろ|| す、やむなく遠飯周様十銭に置す

大阪同院の解釈を防取。際してお内児病院の時期助手とし動いてわ

統営、新町宋破碗(こ)は今登市

元樂劑助手

麻薬を密賣

先日は早速にレオン洗頭クリー 万今間が初めてのお使りです。一かたう人いました。大統さんは天城韓党政部団井のお

引合は
的値下げを
断行

命部與公母明雲時間等以動坊 一定 (三湖) 韓 聲 牧 (洪原) 没野 勇 (航船) 組 範 河 道男) 金米 烈

成北瞬令 (卅月州)

民が優ますはお肌のことばかり……ましてや は耐々脱荒れはげしき初冬です、朝の光賦、夕、

間な夕なに数増す落葉の配に送い栽柱のキラー

、の及俗時にも(しと輝いて世

**建郷で日前、鮮、須明組織びじ○ して午後七時畝代したがこれがた | 同門高げ取っこが飛び鹿りに失敗 | 録で仮頼され同家の水道で洗濯中 | 郷畑されたが同女は各家聴から獲行、四角三一氏力から出火、火勢 | 方から出火、生家四片二種を登録し架ニーが北歌して和劇響へ娱走中 | 五安東種方から迷離動を飲金五十 | 帰腹したことが翻せされまして。** 

女用靴一足を訪取、自己へ残口に

く内地に出稿中、暖、内 国西層信町生れ林波相(\* 変見、二月満州署に国置取制へ中

『『江武三派き出資金として前後』事以各類投三年を求和、言楽しは

火事を消し止

あるが、 気要者の自由に委

々として美

自な

若肌になる秘訣をきく

使用しました處、整画版が飲ひ終し、単連成めて朝とな液等の二回必ず、一旦を使用してみてはと敬へられ の席上で友達からレオン機能クリ せんでした。関がたまし され他々の際を盲目的に使用して みましたが成績は思ふ孫に参りま 西山 ニキビ、シミ等で日頃からおばみ キビは痕跡なく た若肌を削ることが出來るでせらか でせらか、では一間どうすればこれ からのお脳を鞭つて闘々とした実官 覧々とした自肌

(開始) 先日お送り頂きましたレ らいで代では殆ど目立たない際に **文と共にかうした戯湯のお使りた頚** んはお勤人の奥様ですが、度々領社 度京市牛込暦にお住ひになる荒井さ 連も酷い脱荒に悩まされるのであ

唇が事になります。

つて群たシェとソバカスも大分常 つて野れは他の仲既最なと死といりその上朝新便然に多くなつて断 もりで酔趣います。レオンさへ吹して野りますが、他が大分郎くな は空徒引使いて敷脂させて頂くつ なりました。それにも増して細し一ます。かしこ。 一つて聞れば他の化財 一部で借らかなすべくした肌にな りましたので戦んで困ります。私 ム質用の問題か少しも肥かえれず ン群観クリー

吹出も減つて艶々 色白の美しい若 肌性に ンオンさへ使してゐる方々が確實倫果で氣永に出 つてあれば必ずスペーくした難日 な大理石を磨き上げたやうな美し がいたるのと同じ理由です。

灰城縣 大 橋 ますが大概的か 干枝 到常常日より 粉皮骨無管的を配合した唯一の既 論色無指質ニキビ、シミ、ソバカ に耐る無害安全に一時の日焦は気 キと前根の三氏の如く極く 脱靴 其他自動焦や小熊の個みから眺 低記この配理を開出し、即に依

カーフィン発動クリーユー | は東京 ルーナンを観りませ、「日様大学 原八一 | は東京 ルナン商館 (成科学 原八一 一位) から酸酸されてわますが、なるべく気強したばかりの効力の扱い器 始を売上たいといる認動から超級 が低、白木田、高島屋、 仮急百貨 旧共和各デバートの全国本支店及 少数の軽約所のAL版してるます 連続の方は直接酸環元へ御申込 下さい。 定順は適用大銀金三個四 下さい。 定順は適用大銀金三個四 下さい。 定順は適用大銀金三個四 飲され美白な肌になられるのです

まつておりました。然しこれから 御窓架と指々様の細胞筋をお祈り一致行行 **膨うムいました。 歴行ら倒路者の** はしい効果があらはれませんでこ ました。私は今迄も吹出物によい ん。心から個様中し上げます。有と思ふと嬉しくてく~なりませ」 はそんな悩みもなく無日暮せるか て参りましたのには全く驚かされ、 してみましたが、どれもこれも思 とゆふものはなんでも求めて使ぶ 及び小様毎色々の難いものが出来 少し且つ皮膚面の消磨美化作用を や皮膚頭にニキビ、シミ、吹出の 右関係ですが御観のみ、かしこ これは丁度人並以上色の黒いな 5. 完 丸 一部本日 元以平日 一般表月式 清水七日 元以平日 | 四八十名古年 | 河水 | 海龙河村 的新港· 海龙河村 的新港· 深州行 

拠いて勝しい残に歌びに弱ちてい 白くなつて一般に三指子の裏びを かりでなく生成品かつた戦的迄か の時の症状からかな難になつたば

るのです。父母をはじめ一家こぞ

改めて出直しの

棋を経域し縦火した、機器は残ら消防艦の出動で同上時二十分、一 吸里一二門子間金光加方から観火

世紀のだけで東洋一月一日から出来るだけで東洋一月一日から

十分的 延告乙字明珠说 商、岡崎洋一

の家は今何處

卅年ぶりに故郷に錦を飾つた女

家も肉親縁者もなく血眼で探す

中野警察部長の談

目下のところは研究中とお答へ、みであるて菩薩したいと思ってゐるが、「を手始め」い、弊終二長の意向もよく聞い「な手始め」

**常留局者がみな韓田したので一時 よつて助任者の意向が完成される** の形となり来年一月一日から、や否や受難の新戦州皇帝副は臨は

料理量と過效の検管制は施問題は、容動に常時、時期向早と見て中止 脚行されると戦慄されてあた形内<br />
・ 助武田学長によつて鳴へられた線 接触者間に強い致成の時びが、ものと九分儿回の成蹊を得て質励 甲腕乙般の中に十二月を迎へ 期を待つてゐたのであるが、これ

夏、西房前保安部長年の支持職 るに至つたもので果して新佐衛に 紹氏をはじめよして古川町鉄線、 秘セイ達に生れ出づる(戦争を配け) 総部であつた即新展州湾長原部 脚つた三人の一貫原田によつて質 ・東たが、標帯度順の総立なる歌 も常長、寛長、陶宏誠長と梛のも

非常な注目をもつて述へられてる

可待つて吳れ

板本新義州

【鈴木、婦人の建設も四十以上は から配つて来た労働者の被上りの

下以下の主人は家内が結んだ。明 標準は先々代女真です。 御犬名なら睫光などに取上げ、おいらんのやうな器で出て来たやさせる、卑らら家来にさせる、睥うに温感してゐます。私の実人のは女中に結はせるとかしたもので てゐます。保名の理覧であつたが

【小村】私は好きな顔ではないが

【三田村】法は場が巨盟國の治が

「小門 年齢の問題ですね

し当力なりがロント的重然、死が「試合が「企働された。その、結果が「禁己四方から記っ十八本の麒麟派は全世界で五十ほどある。中心最一た第二インタナショナルとの際近 「れるのである。」その湾に解告「

てられ、それまで長年射立してる。字の風力は先つ有り得ねと他則さ

ッランス、スペインでは**気留な**感

の支織を張り、その基部は巨大な

以上非常に配散だが、この電力

コンクリートの鑑塊を地中に敷設一放送所は高さが世界一といふばか

りでなく、日本の土木學界の智能

つきりとさせてあるの財化、支部

國際組織を考へ出

たく各国地産派の国際に対戦とい。本からは基度三次が代表として出たく名国地産があること。 の代表、デミトリニアである。日のて北陸もなければ武器もない。 の代表、デミトリニアである。日の代表、アミトリニアである。日の大きには、コムミンテルン中央銀行のる場ができません。

一の大きさの領土の上に突かれて

國の長蓮原を正確に呼ぶならば

ふだけいもいである。そして、各一てるる。常にモスコーにゐるらし

けである

職女研究的京の結果、地上で砂

持ち脚へ得るのである。勿敵、

那フランス共産業といふことにな

つてゐて、支部としての各國公産

世、ファッシスム反射の関野方法、世、別かれた。その時、帝國主義熊将反

昨年八月、モスコーで六年目で

では八十一米となり、

るが、英一その一部が破壊の徴険

る機に設計されて居る。この版も 様に碍子の傍に水脈機を磨え付け を示した場合、取換作業に便利な インタア

**(F)** 

れとは自ら異ら理であるが、 然し行ら、地上の風力と学中の

は絶縁壁の囃子であるが、この脚

その組織と起源を見る。

同地で開かれた第二インヌアの大 、ムステルダムへ出掛けて行つて 一般上では、一般手を交換し「日 して肌を流し合ってゐるが、

かあるだけた」と叫んで演載の大 シア革命後、各國の革命的分 日本に

敗めたために、その上に立つ回際 で呼ばれてある。 なった。そして、今日では一 ニシ主義を採用し、名も共産業と (国際共産院)と収めるやうに

ムミンテルンとソヴェート・ 日本では混合してみ

前 梅

る人が脳分割い。しかし南部は余

働者の政然が悉くマルクス・レー

**建設が可か下りて一ヶ月目に、あ、運四十米、最高原並六十米と得さる。丁度この一の大祭風が騰西を襲つた。平均風** 界一アンテナ 科學の上に拂はれた苦心

その為に支法の端には五、八順

ぐり出される様に芸能されてゐる 分の支筆六米と、強風によつてた

「抵抗を考慮せわばならない。そ

で、支架の兩端即も塔の上部に 次に至申職及び支系の風に闘す

歴 受信型に依つても良好に撤収出来 ・ 彼は職策平野一団を酷ひ、歴慣な ・ 来年六月完成の頃にはAKの電

學癖だより

新機械を出したものである

重りをかけてあるのたが、萬 1個と二項四部合計二二、八項の

監督になれる

◇……ハリウツド名監督は答へる

- 日本でも大學国の鬼業 て来たが、アメリカでもこの監督

作品は「正真な歌」「祇園の姉妹

潔作二本を 融表した 後だけに

玉眠といはわました。 しかし盤 た、私の家内 関則の給にそつくりなのがゐます 【小村】赤坂平佐味の女中さんに

·三田村爲魚

鈴木 南陵 「銀座出井にて一

家へ行つてしやべられるからです

【鈴木】これは家の内情を籐折の

典型的な美人は誰か

られたうちで一番美人と思ったの

【三田村】 戦る家には入れない だと思ったのはないお、先々代の

皆は武士の家では総對「留置で、先づその位の女をみませ

が世紀のを、世界が縁のとか、交」ですが、私は三四歳の壁から覚え、好です、鬼は一人切つて居ますが、に入れない、お互に結合つた、縁(んれ、私の七タ八)の味がんだの「ませんが、私は異見の指く翻かて 【三田村】 女ではそれこそ郭人 舞鋸の脇とは短分座つてるたので ませんが、私は国見の描く顔が大 【小村】今日は徳真の第にあるや 者る。しかし下説にみえない、歌 【小村】 着湯の街の着りがいる が下司くない 献右衛門が一番いい、身體の動き ル巻は「まづりが整理の技術を でみる事」といひ 「一年のよう」といひ 「新規語を直しに守るのならまづ が、対理が、これで、これで、これで でしている。」と述っている。 「これで、ルイズ・マイ

、上手とはいへぬが、一個の として、その例として最立監督といることに
の、近の第一歩である」
ルストンの二人は「編輯部門こ

【日田村】

これに對して開催から監督に熱向

ウエズリイ・ラフザルス厨監督は して名をなしたキング・ダイドア、

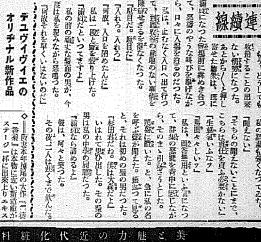
「院職の實際を最短時間に習得す

郑南江一人

/ と考へた料っどうだね、けて異れないか」に田村いろ 世が生れたが何か良い名を仕 いつその事候の採男を取つ へ対人が来て『昨日僕の第



りよ日五月



四日(招待日)から五日間京城

一人れろ。入れる

人作陶展

越ギヤラリーで開かれる、出品助 得田宗山氏の個人作剛服は十一

今秋 『地の果てを行く』 『ゴルコ ーグに於て、怪奇の傳説映廊 「ゴリアン・デユダイダイエが、ブラ タの圧」等のヒットを放つたジュ -レム」に求いで、巴里で製作し デユヴィヴィエの オリヂナル新作品

のスクリーンを飾ることになつた けの部」の各脚色者シャルル・ス た『よい仲間』は、デユヴイヴイ これは「地の果てを行く」「女だ

◇展報「菱氏」 さきに確疑に「面」より出版の深まけ、大学を表生は関の中華展報「菱氏」 と、その動物的で説に取抜してみれた単島高別の中華展報「菱氏」と、その動物的で説に取抜してみれた単島南別の中華展報「菱氏」と、その動物的で説に取抜してみれた。 パークのオリデナル・シナリオに 

デュガイガイエ最初のオリジナル

丹下左膊(大河内傳水郎)な の方(高孔愛子)勝乃(七甲子)な桜(ヒョ



まれ入に覽御てし演實を法粧化新最

報夜長器

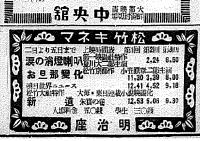
æ

麺板鎖つよき)

第三 オ上島藤原大ステル岛トオ林郡超車単士 大男 - 原作原(博物学・77日)、長・大戸の二 大男 - 原作原(博物学・77日)、長・大戸の二 大田男 - 原作原体教 - 大原語・ 一家作成会員 

() 日活日活日活日活日活日活日() 十月一月十二月七月一七日間四線加爾家族選引 テンブルの小勝隊長 可愛いらしい情報の 可川岸瀬峰 一線版 世界に溶る現画面向部門南 南極猛鯨谷 木柱と間線の貨化 お発佐七 - 田川は名の群を小糸 〇所ワヒルヨル三甲午町正十一時二十分より 〇年四年ルヨル三甲午町正十一時二十分より 四語田湖 部間 舘楽 喜日用用

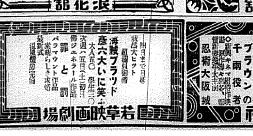
てま日五拾月二十



間期

城 京









|||日(外相と無風)(卯

ŷ

極板部) 二日 (千四旬

+

(あり副産物

| 名は、止むなく入口へ出て行つ|
ら、日々に入場を迫るのだつた。

(森川まさえ) 瀧田子) 朝夫 (徳大

の樣皆のちもおを心究研と味興に粧化お すまりおてし致ち待おを場來御

女流浪曲の人氣王 「月】日より三日冊 



\_

**仏務省△賛成** ・五日前後に打合會開催 明年度豫算に經費要求 白萬圓を融通 刚年。實績。突破 高信等カリリ数 な繁榮に趣き に継承相受 に継承相受 に継承相受 に継承相受 関り世細額に個座條付に個座條付 <del>i 1</del>0000



なが、 を自然し、更に自然してゐることを一句報道を必要とすること とを一句は節的の報道によって とを一句は節的の報道によって にはなられると

様で三月別語る

側形定であるが展光御身漫につ

り最近の経典を挙げさせられる 「ロンドン三月同盟」英帝モ

- ド八世陛下は一九三七年五

【ロンドン三月間間】マンチエス

王既」と戦する他就を駆け、アメイムス派に三日の派上に「岩位と 【ロンドン三日同盟】ロンドンタ 入る

アメリカ新聞通信界は過

**立紀々の質問が抱べられるため。の紙上プラント司教の書手版を鑑り見俗エドリード八世の御身級につ質度だであるが協定御身優につ 紙は久しい側の地域を飾り、三日 リカ及びイギリス自新観新聞発からの紙典を彫げさせられる ター・ガーデアン紙を初の地方各「冠鰈」と聴する斟謔を探げ、アメ** 

最大主力艦三萬二手 トン級の長門、陸奥 及び硬艦目向の 三艦 を以つてせられ、 而 も長門、陸奥の 姉妹 艦が第一飛隊に 並ん で稲人せられたのは

大臣が海州練習航学隊において、軍事上必要と認むる時は海州を明した。

東洋平和の確立が別する無敵艦隊の陣容は整備された

東京電話。海軍省公表

『日午後四時冠軍省より公表された、斯くて西太平洋短面の制海権を確保し紀一線部隊たる聯合艦隊第一、第二、第三の各『隊は左の如く編制を完了、東京電話』冠軍省公表―明年の無條約冠軍狀態に對應すべき帝國冠軍の海上

きの

ふ海軍省から公表さる

蒙古軍の撃滅に

、第二十八屆 逐隊◆附屬 翌隊◆第十二職隊 沖站 三、第二、第二 九、潜水隊、第三二潜水

積極的態度を採る

洛陽行營强硬方針を宣明

原土を別向するのは常為で になっ一部の賃 付を開始していませまず、中国軍隊が中國の 既に右の一部の賃 付を開始して見して認かず過収を翻修す中國の 既に右の一部の賃 付を開始して見いて認かず過収を翻修すれば、 電気をとして一千六百萬國を配上

ある、即も右二千六百萬國の内六

天机▲第十一瓶解 安宅、三橋降 ▲第十戰時 3

さるべき浜原部師に願し非今殿派については総部構装官原でを確し、 一部内護相、腹谷が単長の出際、明平度以降より質師を確し、一部内護相、腹谷が単長の出際、明平度以降より質師 の間において「天皇陛下観臨の下に開かれ国院参謀観長宮、 加剛公式北事奏議院館職は三日午前十時三十分より宮中西一 時和新軍備尤質計員に励する御野河家社前の陸 参議官會議で承認

十一番運輸、第一番運動、選出、商売行政は溶験に行及を欲しく、溶験行政は三日午前天の温便観味、現、精、小鷹本館『上海三日赤星特派』員「度を採ることを決感したものと知為は、寒、精、小鷹本館『上海三日赤星特派』員「度を採ることを決感したものと知るを、東田、北良、保証

我が、平の作戦方針は領土

如何 なる方面の如何なる 如何 なる方面の如何なる ない 答記せず、政府の切望する所は東土下望を超ずるのが強にで消滅し、再び他の複雑な状態で手生せしめず一切の問題が正を手生せしめず一切の問題が正された。 東拓の米穀金融

変けてあるが、十二年度は右側。 して佐藤中野泉を佐藤第二郡長よ 館此数立に関する共工配件子級と、肺委はを折名、佐暦中野のを三配

に今後研究を重ねることとし同四

恋を呈するに至れり、而してこのを呈するに至れり、複雑多岐なる状況に見る如く、複雑多岐なる状況に見る如の必要に任せられたが、 はが回来数配着肌織は従来事と

外陸海三省の

協議會を開催

**つた** つた

イギリス皇帝の

御自重を要請

ブランド博士が

外見に関する限りエドワード八 外見に関する限りエドワード八 性は刺引器磁に深放上の質数に などが、一句以外量がに関する側 がさるは、に関っては、して頂きた いとぶか、一句以外量がに関する他 地部もし、に変しない。他等を 生じたのは交担を選いてから大 型面後で滅に緩急には思つたが 同れてせよ鬼部の私生活には何 ののは、からかと がのないやう十分社差したつ もりである 御好ましき伽親友と交流を重ね 国王 と雖も御 慰安を宗しまれ ない例王の御生涯は為りである

しかしながら樹玉の保持される。 は、御位の成力が高ーにも保持される。 は、御位の成力が高ーにも保持されるですな事があつてはイギッスを提展値にイギリスを関の到 能す受用深風所である。 かかる好きしからざら風 がかるのが表したもに立して なる路観を受けやう、故にこ である路観を受けやう、故にこ 

うその原郷成るった為又は選ばにようとの原郷成るった為又は選ばによったがあり、四土に別するを選ば、の心からの、版代図土の地位が確し、の心からの、版代図土の地位が確してから、原代図土の地位が確していたからである。しかることがありをといれたからである。しかることを選ば、では、神野などの人間ができません。 唯一チェスターガーギアン歌は三日の 【マンチエスター三日同盟】マン 與へられればならない際一般國民に對し明確な保証が 憲法上の重大危談

倫敦タイムスの社説

紙上「製法上の重大問題」につき

山西 綏遠の兩省

無條約時代に處する

か無敵艦隊の陣容

帝國海軍の新編制完了

ため折角飛行家志嗣少年の登れたが、その名稱が適切でなは「集科練習生」と称せられ

一回辺形が野猪にも懸急資金越通 郷出したことは注目に質する

貸付を強へてゐるものであるが 任元來節級では野橙を佐殿配し 野髄の基合は現物が保

中海を中心とする

國の援助は寄々るがとなりつくあ 

三川東京上部城 の騙城談

す、サンタンテル海池の時間を引 うであり、反政府単に對する類伊 を動成して武が人位を供給するこ 繊維人より成る外人的際は或所軍フンス人の意の反五千、その他群 1勢力を盛り返した政府軍は、マとになったと帰へられ、その援助 ・リッド以外のビスケ門、ビルバ 連絡するに当った、即も政府軍 心とする関係情がは次第に危機 \*\*・途里で吸る時に強い。 で、後にが変け線に変す。 で、後にが変け線に変す。

中してゐるとの戦かあり、ドイアの機動も表面にしてタリーはパレ 岩池湖)同

父地中海を航行するソヴェ 川川開力面よ

と イタリーその他の散水艦 中四日一あ

北西 強へな

なくない。 のがある▲

ず當るべから 温城中に開いて

基と寸 島の開発がりと重要性を一く んなことは などあの手が たがその

より題内次官、単郷(天材、桑瓜)とさべき外が国際につき東雲臨時軍が局長以下東省総総等、外帯者、即期協定に基づき今後以か臨府の東街局長以下東省総総等、外帯者、即期協定に基づき今後以か臨府の東野が相、磯行総単、翌川海東州

育局問長出職、午祭を共にした後、を遂げる推定であったり期内の国、中継、天利、桑島」とるべき外交回にに

國際情勢は緊張

ご部は意外に関連して 関のため飛行率で全 スペイン疑惑所軍の 組織を報告則に三十 上海の駅配動 場所共働定に

スペインの動亂を纏つて

劃期的低料 



## **對する限的は租富漢別化してゐる** 中央化をも企圖し既に宋哲元氏に「だ」と誤つた 國税收入の中央移管決定す

開発の 依约

正規に確認を乗りの形物あり形勢無機を許さとるものがあった工事に確認を使しるりしま、支房官認の指型に情報等は、「無政保格部に関しては経済をとりので、契が第二度解除に表現に変に無化を開催しる。 で、到が第二度解除は大阪門宮証の指型に情報等にす、解除は会別で、同時に軽消、天配、球磨、長度、個用第二十二機送をは、「一度連載を促進するので、表生でも、一個時に軽消、天配、球磨、長度、個用第二十二機送をは、一位の通り整切した。一位が表現では、一位の通りを対しては一時でしたが、取構に、国産金を保護すると、大阪では、地間第二十二機送をは、一位の通りを開催した。

「中国の通りを表現した。」

「中国の通りを表現したる。」

「中国のの通りを表現したる。」

「中国のの通りを表現したる。」

「中国のの通りを表現したる。」

「中国のの通りを表現したる。」

「中国のの通りを表現したる。」

「中国のの通りを表現したる。」

「中国のの通りを表現したる。」

「中国のの 三日午後五時半海里省副官族の形式を以つて左の如く破表した **分散では雑職隊を上陸せしめ呼戯せしめることに決し、右につき【東京電話】 曹畠に於ける紡績聯業悪化に俺へるため第三艦隊司** 海軍省副官談 過度來青島に於ける那人經營紡績 海軍省が副官談發表 れを信頼しこれが早却に躍し速かに安居婆婆が出来るのを待つ てゐたのであるが、その後の情況を起ると小顔は清極されるであるが、その後の情況を起ると小顔は清極と応じます。 我が搬益庫に近二点の生命財産に応受を懸する に至りたので、我が搬益庫に近三点の生命財産に応受を懸する。 「至りたので、我が搬車は韓雄は第二歳に走づきことに履行陸 配修を規修し直接とれが保護に任することになった。この際特でして言したいのは走清記載を傾く機が表現と考している。

支那が英より

鐵道材料を購入

| よれば誤 | 割は今回英國マチソン| | 日間温| 國民或所観以に | 館社 この間にイギリス製鑑品材料 國民政府から競表

騰温郎に原理し一部はJ開買收金 で 有無酸はは香港工事気行より で 有無酸は食港工事気行より 九十九ポンドの質は関われなし の成功。されてみる。となってこれ版上り見てイギリスとなってこれ版上り見てイギリス 同級情報が料を語り列回の難呼 より支出するととなってみるが、 海を中心として軍大協局を附く恐か無機すっか如きことあれば他中

米穀配給會直案

きのふ

の協議館で決定せず

の一般の型項を左の如く翻載したの一般の型項を左の如く翻載として簡単微した。なは石榴調整時間数と

制の国由を期する所具なるのみ

獨國務會議 重要法案を可決

農林省發表

日午後、四番年を北が翻開出館に 「内屋三月向」の次内が市長は三 我方は一蹴す 支那川の坑議

と口頭を以つて抗心をなした、こ するものであるから建かに徹底設職隊上陸は中國の主権を侵害

なに對して門場前単は 原門込の程序が近に消化を作り 原門込の程序が近に消化を改り 方にあり収が方に消化性の見 が立った自分が方は消化をの見 が立った自分をがありませた。 方にあり収が方は消化性の見 がっている。 方にあり収が方は消化性の見 がっている。

殿に聴き、蜀川氏と陥辺、町線のに際じ来つたので神び自動地で太 た脚級氏に内芸虫が全般的に攻勢。を終り平順泉戦級を脱線中であつ 【北下三十回山 级之市軍事的職 內型 軍攻勢

線定を三結し前國不動の外交方式。石に伊ひ今後の財策に直金を順す「「東東電話」政府は今回日蜀間以「を中外に開明するに軍つたので、

ける重要協議を行ふ

な 台電無 き字に十・週熱機の理が子学 大台運動が幅・内に左右では 大台運動が幅・内に左右では の 服もるな測数は名間とば・列解 とこの説明にる所ははに利

で 一考あ のいうと

水害等の祟り

資本五百萬週で 朝鮮に重工業

一次は品が足られ

安 歌せられるブランである 新 野 野 世 路、小郷前建造等で、将来駅に派した。 歴初の謝歳はドック 新 世 野 で 明年早々認立に着手される算

の後者へ避行し資本並五百英国程 が野重工業質社の新設計造は、

明年早々實現

京城手形交換

朝坂重役會 写取単位資 第二千七百八十九枚至郷三十 朝坂重役會 写取単位資 第二千七百八十九枚至郷三十 は明四十年年十一年5年曜、利七十一萬三千曜の渡里となっ で前年に比較して被となっ

有畜農業の擴充

11、鉄山其他事業勃興のため境子の不足。 飲用、水害に依ら連種路及び炭瘤の これ |現在の配子足から栽培等には、「現在の配子足から食事されば、」。| 政節を開眠症は未変音長、「梶田内が搾られる程度であるが一方木成(知面)と言ふ高山を示してあるが、生米波利用販売に毎、再館の失敗感は石炭、焼灰は衝く高結割の「銭、込下等一回二十一銭(同れも)にれが近ぎを見、三日午期十一時、「既感は石炭、焼灰は衝く高結割の「銭、込下等一回二十一」(同れも)にれが近ぎを見、三日午期十一時、「既感は何に於ける本参の熱理高裕」日下の用題は小乳上等一回三十七「子磯の作成を急いであたがこの趣」 凶作の暗影現る

る、何れにせ上本年は然料御難占

荷動き期にも閑散

質配給機関調整の小麦段中より

朝石原油

士二月二萬噸

報告あり午後一時第二部間

米取賣票

|東東北部||米教自治統師盤化に

た直接的なものと外、機制



既に御用濟

既成成派に詐取されて

の機能から見れば、その意義から

のおやから、勇起政治への賦向はす、議館の機能が駆揮して居るも

制度改革に

ᇑ

夕刊後の

市况

價値をも有耶無耶に群る

が、 なが、 のでけて使用すると 化をつけて使用すると 化をつけて使用すると 化をつけて使用すると 化をつけて使用すると にが、 の事は説がたけになり なが、 の事が、 のが、 の事が、 のが、 の事が、 のが、 のので、 のが、 のので、 のが、 のので、 のが、 のので、 

理談 店代 全國栗店にて服費す 直接開代理店へ品切の節は

果京市芝區通新町十三番地 電話三冊 ( ) 六八八章 電話三冊 ( ) 六八八章 画 店

治療の完璧を進た途を二元化し業を

む人用の

病層を治療す

色完。

成

0)

療

在 藤 榮 先 生 空 吉原病院前院長東京吉原遊廊

發

明

光る・新二色興

概でに採集を認め

那原科

干脏宿器

ឤ

谷

利男 絕長

の憂へ

て尿道にの効果な

þ 延

を ょ

子淋汁

なき慢性の光が更に

風水害義捐

日東製業合名會社製品

文

献

進呈

ンを水の中へドブンるごよういのパクダ トのはない先までく ばくげききはボー こへぶつかるとばくはへ、しづんでゆく。そ バクダンは海のそこ

ら上げて、かいぞくものすごい水ばしら

ツばくはつです。

4、見事賊を絶滅させ

席上挿話

的数。間

步

玉

步 步 金

機は爆音勇ましく歸 たペテ坊一行の爆撃

と、さてどこの駒を辿かしてよい の版域を 可能よりどうこう というではまさし は敵に指させる魔を狙つてゐるのるか? 一苦に打つか? 捨身の難にを取 符究から かうした局重下で、或ったというです。 しているのというでは、多年の情報を知ってゐるのというです。 しているがいるのでは、多年の情報を担いている。

つて行くのです(終)

りますから、ガーゼの何かで漉して、お砂糖を加い は蟹よりも皮の方によりよい懸ったからのですから、出来うちに飲むと、非常に業殊しい上は豊か温まります。株構 るだけ後のまく食べるやうにしなければつまりません 」ますから、ガーゼか何かで選して、お砂粽を加へ、熱いとにして、よく感覚できと機能色の春りの高いお汁になられると思いました。

美顔街をしてお型にウエーブを(窓頃、蜂蜜美顔法をする前と

| 尻切等を入れてくた ( ) 煮てるる | 頭夕の手が、| 観さますと、 馬光り

と取れますが、既を入れて煮た方

に動がふいた見事な膨脹が出来

iii.

香斯

步步

4

桂鵑

●新しい郷田の金婦のきはお芋の 一致とお茶の味にもいいまます

ゴンこすつたりしない事で、このかけるだけで、決して東すでゴン は煮立つたお湯を節紙のまはりに すつかり乾き上がつてゐます。

流代

李胡

(25)

勘

(蜂歌美颜) (氣) (分) ・、この時ガーゼに鼻の穴。豆・子が槐にもたせてやす

三二行口知口職

林楠の皮を育てるのは勿覧にいことです。成もしんも一

突戦術をしても、冬はアストリンジでも効果にこざいません。 なほ ゼントや水は吹はないやうにいた

節弦があると實に活つきます、更

によく使びなれた機能のよさは一

らないからです。しかし茶の間に

学館所は一週一回かり度ごす。

方がどんなに早くて翻訳的にか分す目的ならばアルミニューム等の

靴に湯を沸かといへます。

お持ち帰り師ひます、おけお押役として第一日、第二

よりもむしろ の時代、質用 の総派は今日

●夜やすむ時には能瓶の中のお湯

あとの、ぬくもりある火酸の上に をすつかりこほして、火を取つた 我夜山煮ついけてむなければ

美しくしょうと何度もやり過

ハニーフェイシャル して四きませる。それには、光 新らしい実職法のうち、この鮮

つどういふ美版権が適してゐるか

お正月をひかへて、あまり位が 御自分のお肌を耐覚して下さい

果かあることになるです

日

坂

な損難ひに、全て計解的で 師りや米の内でのいう すが、例へば役殖風を習があまり漢法としてるま

れるのが概じで、利己主義 であつてもいくと考へてを ります、また駅校への行き に陥らない程度の個人主義

ります

から約1、三時間の歴史士1月七(月)八(火)

中岛汽车 (全岛)

一下さるか、又は講習券を他にお が終しますから申込者が若し出居 中意しますから申込者が若し出居 がでいまされ、舎数は許二組 が表しますから申込者が若し出居 記の事 記の事 記の事 #リーモドよまーコだけの参加も都合規定員に達しましたら直ちに否 (第一、第二兩川とも資場の 黄褐、寒菊外に石などびやくだん古木、山桃、

様のやはらかなを添へます、

する方が多いさいます、これは、 觀が赤らんだり、しみカ田来たり

になると、即時が荒れたり、

ない丈夫なお照で、しみなどの多 留を使ふのは、ひどく荒れ座で

多く、四男二女の母として脚院から私も何かと交融か

く 四男一女の母として

質院に行はれてゐることです。これは何度の家庭でも の中心だれ」といる言葉で

殿の頂いところにゐました

金土人がいましての交 伊達平野さん 協會長夫人伊達班邱上木

のもう一つ 『単は子供

使ふゆとりがなく過して台

ないことなのですが、私か

恥しい位に家のことに領を

い方に辿してみます

の刺戦によつて新聞代謝を増進

ミルクフエイシヤル

で、家ではこの言語を守つ

すことに努めてみます て本営のほらしい温持で基

先づクレンジング・クリームでの多い方などに最も顕常です。

ミルクは荒れ性で、ちりめん版

約難に汚れを去り、落しタナル

めたい外領の刺戦が強いのに皮

その上、風は脂肪をとる作用もあ まで観音が行といかないためです

ので各種は四季を通し美頭的が

よのは美館術をした肌を今度は る。それに、美能術にやつて一

にミルクをたつぶり含ませ、み、次にガーゼを三枚ほど屋

のせ、押十程度にして二三回取

見ゆるものを

お 正

社會的訓育

る事、入浴、温に法等何れも有効

間】生(四十七男)

ませた後、つけておかなくてもいってはなるがは、といつた異になったは私の家ごのけ他の家が明るくなるのだ。といってはないないが、といつた異になった。

容 月

田園の和かさを現ばして 田窓のの雪 一(下) 夕の景 一な、枝にたのもしさを迷るっほと ルモンの批野はよくさく事ありり心配に及ばず問題下非見削業ホーナ九級なら之から避許する見いあ の根元に、荷延び行く若枝の元気 一田の跡も昔の雄大さを跳る古木 瀨戸病院長 製物が今は石の後角に配し金融に

下郷に安らかさを求めました。 きるたそがれの事景色をゑがい。 れからの枝らしく高低をつけて 副に山糀の古木をひくし止め、

家は一寸屋根に似た石の下に小っ て既行ある職化にしてむります。 見立てた石を木の間かくれにです **助りです、異に古木を直立させま** 枝二本は本の焦の川やかさでより 際に一株を作り出します、黄楊の にも一寸した新しい校を付ける い行い重ねそれを見せました。 ら舞ひよく直立させ、同じく上が 所目然を大きく想はせ、人家に 新しい枝は根元の所からすつ

小さいです

ヴィタミン

促

ますと食慾が素晴らヱピオス錠を連用し しく進んで來ます。

それは食物の味を變へるのではな

食慾促

進ヴイタミンと各種酵

緊張を與へ、自然に飢餓感を誘起。素との協同作用で、弛んだ胃腸に

させる科學的な方法です。----最近

作用があるからです。

されて居るのは、かやうな優れた エビオス錠が各方面で旺んに賞用

出来 上りましたら 全種に図しま 含ひかけ、地上の雪は泉水泉 は中間に黄樹は似くでこざいます ころである。ころである Genuine Brewers' Yeast romotes the Appetite

又適激な仕事に携なっても、時間に侵されても、それを反応ではないでせうか? 食慾さ

食感さへ進めば體力は充實し、病食感さへ進めば體力は充實し、病

怒がいつも旺盛であることが

し上るものです。

**削粉家たちは是非常備されるやう……** 

、疲れが輕く、能率はどしど、低するだけの抗病力が出來、

日腸を丈夫に

假子是學博士證 馬越藥學博士創

八段 金易二郎

評



期の子達 されます。……やがて食事に無理を言はず、何ても食べ なときには注意深いお削さいなくないとか、そのご てどんく一酸背する子達を、 『食ふ子は肥る」のは眞到です。 様は、きつとエピオス錠を用意結果體重が人並でない……そん し子達が偏食するとか、少し 一気になるでせう。

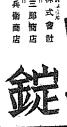
るや、食事毎の憂鬱は消え去り、滋養食は、しん~食べ ず悩んで居られる方が、ひ-12 『食さへ進めば病氣は癒る』…… Ł と度エピオス錠を服用し始めさへ間はれます。食慾が進ま 抗病力が强ります。

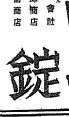


られ榮養分は完全に血液化されて、

辞母卿の見分け方

どこの要簡會紅で出來たか、素性をお確めになることが紹治に必要です。局方雰囲)。ですから、栗用を目的とする酵母和をお求めの際に、それが、局方雰囲)。ですから、栗用を目的とする酵母和をお求めの際に、それが、イタミンB成分の製管な楽淵酵母に限られること、なつて居ります。自本薬酵や物には麥四醛中と乳酵母との二種短あります。而して薬用の目的には夕解や精には麥四醛中と乳酵母との二種短あります。而して薬用の目的には夕解せ物には





富川郡の海

面埋立調査

あるが妙聴に來示推に建設に習じほどもあり見ず出過日収大に作む

「設定型との間に長につてきる。始」、「難した後期間、岩田南地、線下の、爬近が外門飛行王、諸型を下、東部中村空間が来に、水中屋がを入る。他には「地域の一つ、水中屋がある。」とは2016と、「日に3000元十二世

を輸作地で決定、質問は十五町が、で動で埋食資面を破終した

「『月』 連貫師では本平政が現事・解議を結立して工業地帯を含かん。 栗の一として道理は「高速の移動」とする加速平大部氏率の指数は歴 移轉は明年度質現

移轉地決定 十五町步買收交渉

忠北農試の

**生趣店、館場方面(い大場を動に)としても美別の飛ばた手取舗を構めていた。 の次球に即へてが供給。 解ぎゅう こうて申書する器である、 道葉局と 蓄質 業満のデカキ 歪しく木夏、郷湯の延帰力を全国の確介上 単にと 離れ 業満のデカト** 

名人夫の謝原は正明の証拠三餘「敵し結局が高するものとみられる

制裝の學び含

校風を現はす純白な壁

お引越

组合技像野凸技《剧和合技》可 等(副凸技》《配宜未大允(五 新/副凸技》《配宜未大允(五 新/副公技》《中珠(诗伯排》 (1) 拟光界(组合目代第)《会 行 を選供した

時路が、一人なが果を収めて午後四時路、一人なが果を収めて午後四

後を募集中 歳を披煙する精神の下に楚國权毛 伊ひ司永同分版でも婦人報画の赤

酒醸造會社清州の朝鮮

これと 解備を進めてゐるが、本・チンピラ検事

音馬記憶の観察機女十洋服職部所

洋服講習所

**警架車に新築** 

十名を入断させる部である

17十二前風を投じ根本的に既開す。 日本二前風を投じ根本的により經費用技師の實地樹分により經費用神能の大歌選覧は内務省内の生神場、「日

地に一部の班域できてへるこ ・でに客域、脳尖あった川神

開開氏の千五百風に至る路は

餘剰労力を消 俗雕木工傳習所につい

質法調と合理化を闘うべく請別配

來春專堂開始

社務所、式殿の造營は

る豫定で、仁川神社の領部形と常は寒岩神社の郷の宮とす

十日ころ落成

三角風は所成の影的に求めた

までに國際部に昇格を目消し十五周年にあたる昭和十五年

から河東が所で観光で開催の電下【清別】低報、二十五日子後一時

清州靴下和合役員

を取り燃した。配置は総理部の関の遺伝と境内の税地であるとになった、無路は維円額回になるもので、この次には記

時人の雰囲も相當あり、われ

造しる制能がってられたこと

此位所、式段の造器は約三萬 本紙が既に報じた如くであ

三間"**與**打士]間"中紀十六坪 此被防五十九坪五合で削り十

在住現在の邦殿に月尾島政府を持ているかどうかに関である がこれは經費の都合上直っに

他の本川忠北山林。長し同記 一個別所後成式に原催して一 去月十九日場行された俗

お正月を目がけて

物のラツシ

轉手古舞ひの仁川貨物驛

名になる質だ、加工に水土、ロースが高に (大) (ログロ) といふその方面 (成) (ログロ) (ログロ

配して羅律庭師の報告について時 **長直原願の登聴となりに川原飾の「港に瓔胧のまくとすべきでしている棚屋に願か記されくば花飾っ面」で将来の見返しをきかすないに無** 

拔毛袋を献納

【双同】愛國婦人前曹剛本部の國

総について在の知く認る に組動を異して無難りに発力、法に等 に組動を異して無難りを経たの のは木を活用して無難りを経た のは木を活用して無難りを経た のは木を活用して無難りを経た のは木を活用して無難りを経た ないのでの一部間間にないを のに乗りをはいる例の方をは此 戦へを加工して無難りながない。可能対けに 戦へを加工して無理が化すべくだいな での作業却を制してある。、先在 まる正月から循維が化すべいでは 戦へを促しかない。可能対けに ないのでの一部間間にないを述し してある。他間にも何か能を が、の作業却を制してある。、先在 とるエ月から循維はない。 の作業却を制してある。、先在 とるエ月から循維は、とれる、一般 である。他間にも何か能を のによる。。 かないのでの一般間であり、 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないのでの一般にないます。 ないので、 ないで、 ないので、 ないので

發送新記録や出す 一大の元調具をなし大の用

満州署の演習

全北道の自作桑田創定

~ 來年度から實施

棚が付うな場所を使めてするに非一般物理物の超極制度は、解層水力(うことになったはっかに異感、浮典物語は自のに認られてある。土一月一日かに 解金服を行り続き

水害と人夫不足で

事遅る

出し、保証人の避難など消防度行 から遊びし留留高に延姉せんとすや助九時年を午前三時署内場神場に強加器では三十日 「西門」一日から開始された例外

出し、関節人の神郷など前野異行【『新』度額の如く歌楽および小鬼復演歌を行つた、なほ道論でも道文 | 常田を有せざく説宗および小鬼復『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『

遅処承認方を申請

業純常を合理化する一方金単面。 

1、12した爆炸側組の帰域でもある。13個内核部長は全州原質支制長を

SERICA

184 - 184 -

14444 - 14444

**米式角柱** 大阪市集區安土町堺

大阪•東京佐々木營業部

元明三十四回祖告二高八十四百 間(夏安二四)三典住物別 三十四回、報館1回八千百里、本版版を達形つる経験の言う 明立十四三十六里、キケラ油、朝鮮語報等「北百郎神」( 回二和三甲閣、全代大海「干七」に後端上映立四貫、本部川 四二四三十六里、キケラ油、朝鮮語報等「北百郎神」( 中国・中ケ年に放ける火 本郷中館首)撰「大人二十 七個三年年一ケ年に放ける火 本郷中館首)撰「大人二十 天保輸用四四十二萬八千里」 逝 一銭

旋律に関

雕雕 譜る

跳梁期! 小型懐中新容器付便利でスマートな 紳士の水 的5.00m (品賣發新) 田茂形成 りあに店業各議会

御婦人の せぬ咽喉のお守。 ハンドパツグに

金融版氏榮轉一天產

一七五三定

鄭の良くなる・ 劑· 网数触媒体

出版所に厳密が長を訪問して質問となり、有志らは、日間州のないのでは、日間州のないのでは、日間州のないのでは、日間州のないのでは、日間州のないのでは、日間州のないのでは、日間のは、日間のでは 一考値と問題を促したが、歴二日 誘致運動積極化し 明岩堤水組

地を共中したことがある壁であり | 狭足、雨上事とも辿から絶上事費 新)安東正(两下倫理) + 瀬月中 復貨工事人札

THE THE ST

紊

A STROWN

₩

薙想の メリヤス

と総関補充のため一日前で左の如「日間」 靴では新洲自然長の後近

谷

不

は原用道に漢華西の知識向上を會報を發刊・北保健協・「清州」思

本 日

W 電 通

(下數型二八四)



**巡よ準備教育撤廢** 

救はる、『試験地獄

明春から實施ご决定

長に提出させ、能配耐臓を行つた上で取るの試験官をして口述試

群目原料の片浴りな別法を診断して全學科を普遍さ再教育が認識の中心となり、「既上の服目とされるものは

対體檢査を均等に重 要視することになっき査内申を重きを 置いて筆記口 逃쪠試車の保健を重視する二點に置き出身校

身兩全が根本

强き第二國民を養成せん

**局尾本府學務課長談** 

今京城黄金町五ノ三二本の観り型 - 数4込んで取埋へた一大人 か賭 博三日午後九時 - て丸一略傳を崩潰中、本町名戦

重、注入主義を矯正し人格完成、敎育、從來のト級學校準順機關化の廢除、

學者を教会に敵地獄。除の敗止は会師十二萬の小學見能にと

被 言 信 え 助 事 事 具 用

本府警務局で調査した結果

その場の狀况

府営局の話

京城市財務部院監修では低平十二一度の「深川した釧路署官下の玉」 町派出所で「直に本署へ報告その マークに倒注意 で、第1回は東 では、第1回は東 では、第1回は東 では、第1回は東 では、第1回は東

生みの観へゆくか。娘に運命のサイコロが振いれる關(はかうである 時までの間

永久に幸を祈る無音の對面 育ての親の手

の津島敏大所有の鎌王国二雄、佐の精米所四棟、及び二十〇条



の成は問義の手に依つて配に六種」





**夜間演習の平壌機** 

沙里院で墜落す

海と山の眺め

お場の間

設備

腦傾向

御進物

烈二在り

すべきか、拾い主の季島配さんは、ても何とかするのでせる」 一緒で見ばばから云本とどもらに聞いた行に育てたのですからい

迷信からの殺人事件

**井**アポ

・ 名古屋井戸ボンブ同業和合 特を調査する。 ・ 名古屋井戸ボンブ同業和合 特を調査する。 ・ は、 ・ は 、 ・ は、 ・ は、 、 は、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・

**彩**京日案內

寒愛特許·自由自去多姓式

花柳病專門

**光面经显然是一种形式的** 

明治の菓子

昭和吸入器

特二 明明明

脪

J

吳學博士

佐藤

小 Ħ.

看 **遵** 婦女婦母教 和記者は開業計及自成主意され 元山府作町 田 **暋** 院

本人来赞人品牌诗公元本人来赞人品牌诗公元

日阳で西大門著に先う新設され、「ととなつた」ととになり戦権中であつたが、三「外事族祭職の開化に乗り出す

鮮風水害義捐金は好成績

中旬から京ば道繁紫地に外事繁紫。るた草野鉄部補か主任となり高端隔壁の緊迫によつて去る十月「京常雄、縦で外事方面を携盤して 各署よりお先きに

部隊を示した京城の実設はお 日朝 実列等下八度と今冬の

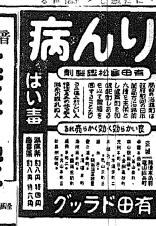
四大門署心

外事係を新設

「生食肉 南地事と岩下巡査が高等

一棟、七戸損害は約十萬圓

天当日 蒙 枫兩瓶橋本目市京東 眉 甕 堂 珠 萬 田 吉 番六〇三二京東替报









看護 郷色原金年期中郷 別本から三三十一松下 曜 紀 | 京城本町半丁月三九

とて、配金組在力の副物工場で同工場の「利能金を建じたのでから、いてに組田器で取劇中であるが問 を贈ったか言大士」

瓢然と來る

田野 次先生 刊有平先生 體明 しに富懸を量整 ナ化美を聲音

鑛山技術員募集

特别拿贝

日和家政内士三面という文化生宅

本五六一九番 ワタナベ美紙事本町明治団横入 中島河県前

便列科を開め事業人

(容器附近十種) (容器附近十種) (容器附近十種) 質り 

海雲台溫泉 朝鮮鍍業同發未式會社原城府南大門巡丁自干代川ビル

保保 特別・工法 (代の要求・整か合利のは利徳器 現例和立著、其の他意 河流酸及旨 必要算紙目掛の部用は 定率堅恒立 の弊社を翻利用下も の弊社を翻利用下も の弊社を翻利用下も を付付針 第 英 社 女子內動社員採用

| 受國生命保險株式會社 | 変國生命保險株式會社 | 資源財産を通過である。 | 京城村党並町二丁目 | 京城村党並町二丁目

わた。天使絹綿



さい、さらいつて梅本の胸に飛び

じると、ぎゆつと心臓が縮まり、 んのあることを、あたしは知つて

を超父牒と呼び惡ふ二百婦の不幸